

農林水産業を取り巻くサステナビリティの課題

年々深刻化する農林水産業のサステナビリティ課題は、当金庫の事業基盤が抱える課題そのものと認識しています。

これらの課題解決に向け、経営計画上に具体的な施策を掲げ、本業を通じて取組みを行っていきます。

農林水産業を取り巻くサステナビリティの課題

持続可能な食料システム

- 生産現場から食卓までさまざまな課題が顕在
- 食品廃棄では国民全員が毎日茶碗一杯分のご飯を捨てているという試算も
- アニマルウェルフェアも課題に
- 食品メーカーや流通メーカーでは認証取得製品を選好する動きも

担い手不足

- 農業就業者数は、2015年208万人(うち49歳以下35万人)から2030年に131万人(同28万人)と減少の見通し

気候変動

- 世界の温室効果ガス排出量のうち、農業・林業・その他土地利用に由来する排出量は約4分の1
- 台風や洪水、海外での大規模森林火災など自然災害が年々増加、農作物への被害は甚大
- 国内では高温による農作物の生育障害・品質低下が発生

外国人労働者の人権問題

- 農業の担い手不足が課題となる中、外国人労働者への依存割合は年々増加
- 雇用者による違法行為は農業でも問題に

森林資源の管理・活用

- 多くの国内人工林が主伐期を迎える中、国内では再造林が進まない
- その原因として、立木価格の低迷や再造林にかかるコスト増、担い手確保など課題山積

生物多様性の喪失

- 日本の野生動植物の約3割(約3,600種)が危機に瀕しているといわれている
- 生物多様性(生態系の多様性、種の多様性、遺伝多様性)に配慮した農業も進む

持続可能な水産資源の活用

- 水産資源の過剰利用は国際的な問題へ
- 海洋プラスチックゴミは年々増加し、問題を放置すれば、2050年には魚の量を上回るという試算も

農林水産業を取り巻くサステナビリティの課題＝農林中央金庫の事業基盤が抱える課題そのもの



本業を通じて、課題解決に貢献していく